

札幌市におけるIT人材の育成施策について

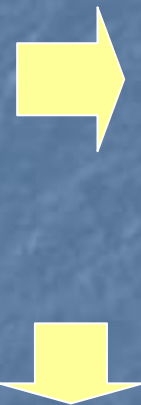
2007年12月

札幌市経済局産業振興部産業企画課

札幌市の産業振興の方向性

札幌市の産業特性

- ・ マーケットのパイが小さい
- ・ 外貨を獲得できる産業が少ない
- ・ 物流・輸送コストがかかる産業は不利
- ・ 最大の産業資源は“人材”
- ・ 育成のみならず事業（企業）誘致も必要



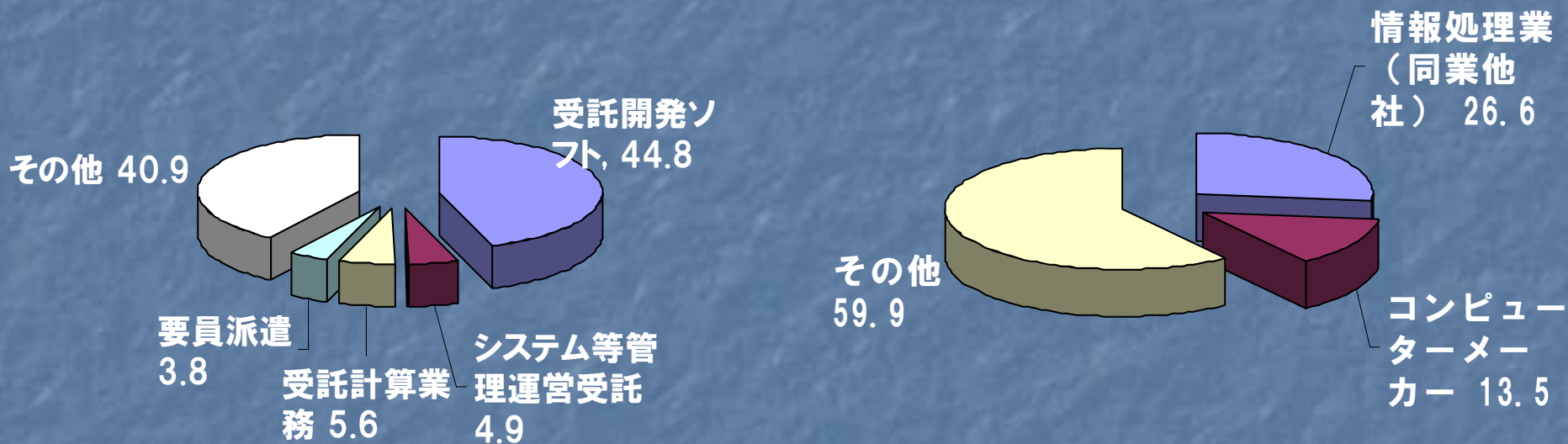
振興すべき産業の要件

- ・ マーケットを札幌に依存しない産業
- ・ 外貨を獲得できる産業
- ・ 人材の質が競争力に直結する産業
- ・ 札幌への誘致が見込める産業
- ・ 今後の発展が期待できる産業

IT関連産業を重点的に振興

- IT産業のマーケットはグローバルな展開が可能であり、有望な外貨獲得産業
- IT企業にとって人材は最大の経営資源
- ブロードバンド化の進展とユビキタス社会の形成に向け、IT産業の市場規模は今後、飛躍的に拡大する見通し

札幌のIT産業の現状と課題



出典：北海道ITレポート2005（北海道経済産業局）

- ・ IT企業の売上のうち6割が受託関連業務
- ・ IT企業の売上のうち4割はIT関連企業からの売上



受託系ソリューション企業を重点的に振興

札幌のIT企業の抱える課題

「下請的」構造で、上流工程の業務を受託できない。

- 高度なスキルを有した人材の不足
 - ← 十分な人材教育が不足、技術者のレベル把握が曖昧
- 札幌の企業体力が弱く、発注元企業が安心感を持ってない

札幌の企業が有する技術、レベルについて、発注元企業がわからず、受注機会を失っている。

- 企業が発信する技術、レベルの評価に対する客観性が不足
- 営業力が弱く、情報発信が少ない

札幌版ITSS（STSS）にもとづく高度人材育成施策

札幌版ITSS（STSS）により技術者のスキルレベルを診断

- ・ 市内IT企業が共通して利用できる枠組みを提供（H19.8稼動）
- ・ 診断はweb上で実施（企業登録→質問回答→結果出力）

人材育成・活用センター

- ・ 各企業においてSTSSにもとづく人材分析、人材育成計画を策定
- ・ より高度なスキルレベル獲得に向けた実践演習型研修やセミナーを提供
- ・ 高いレベルの技術者によるコミュニティの形成・活動を支援

企業情報提供センター

- ・ 個々の技術者情報を企業ごとに集約し、企業としての技術力を可視化
- ・ 企業情報の一つとして公開することにより、ユーザー企業等とのビジネスマッチングに活用できる仕組みを構築

STSSキャリアフレームワーク

職種		コンサル タレント	ITアーキテクト	アプリケーション スペシャリスト	ソフトウェア デベロッパー	プロジェクトマネジ メント	ITスペシャリスト	ITサービス マネジメント	カスタマー サービス	エデュケー ション	セールス	クリエイター		
概要	ジョブスコープ	1-0のレベル	顧客の経営・業務上の分析、顧客のニーズを把握し、顧客の課題を解決するためのソリューションを提案する。また、顧客の業務プロセスを改善するためのソリューションを提案する。	業務分析、ヒアリング等によるユーザー要求の収集と分析、システム化要件の取りまとめを担う。また、システム化要件の取りまとめを担う。	仕様書や設計書に基づいてプログラムとして開発を担う。	システム開発のプロジェクトの進捗管理、予算や人員等のリソース管理、品質管理を担う。	特定の製品・技術の専門家としてシステムのインフラの設計、導入を担う。	稼働しているシステムを維持するための日々の監視、運用、管理、保守を行う。また、システム障害発生時の対応やトラブルシューティングを担う。	コールセンターにおける顧客の問い合わせ対応、顧客のニーズを把握し、顧客の課題を解決するためのソリューションを提案する。	教育計画の策定、カリキュラムや教材の開発、授業の実施、学生の進路指導を行う。	顧客のニーズを把握し、顧客の課題を解決するためのソリューションを提案する。	Webサイトやマルチメディアコンテンツ制作を担う。		
ジョブスコープ (責任範囲)	5 (責任: 広い視野を 持ち、自らの専門分野 において重要な判断を 下す責任を持つ) (スコープ: チーム全体 - 組織全体)	ビジネス分析	IT戦略	システム アーキテクチャ設計	システム アーキテクチャ設計	マニフェスト		運用設計	運用設計	マニフェスト	人材開発	セールス ソリューション	クリエイティブ プロデュース	
	4 (専門性: 自らの専門 分野において、新たな 価値を創造することができる) (スコープ: 担当分野)		システム分析	システム アーキテクチャ設計	システム アーキテクチャ設計	データベース設計	マニフェスト	運用設計	運用設計	スリーパーバイズ	トレーニング	プロダクトセールス	クリエイティブ ディレクション	
	3 (専門担当: 定めら れたルールや手順の中 で、経路確保、創造 することができる) (スコープ: 担当業務)				アプリケーション設計	テスト設計	マニフェスト	プラットフォーム	運用アドミニスト レーション	スリーパーバイズ	トレーニング	プロダクトセールス	クリエイティブ ディレクション	
	2 (担当: 手順を遵守 して、主体的に実行す ることができる) (スコープ: 担当作業)				アプリケーション設計	データベース設計	マニフェスト	プラットフォーム	運用アドミニスト レーション	ヘルプデスク	トレーニング	インストラクション	セールス ソリューション	クリエイティブ ディレクション
	1 (作業: 手順に従っ て行動することができる) (スコープ: 担当作業)					テストオペレーション		プラットフォーム	システム オペレーション	サービスデスク				クリエイティブ オペレーション

STSSをベースとした企業力の可視化（量的表現）

企業が抱える技術者（認定された役割別）の数量を職種・レベル別に表現

職種		コンサルタント	ITアーキテクト	アプリケーションスペシャリスト	ソフトウェア開発者	プロジェクトマネージャー	ITスペシャリスト	ITサービスマネージャー	カスタマーサービス	エデュケーション	セールス	クリエイター
ジョブスコープ 責任範囲	5 ハイ					★					★	
	4 ミドル					★					★	
	3			★ ★		★		★			★	★
	2			★ ★	★ ★ ★		★	★			★	★
	1 ロー			★ ★ ★	★ ★ ★		★ ★	★ ★ ★	★ ★			★

少

多

IT人材雇用プログラム

